

国保データベース（KDB）システムのデータに基づく 疾病別医療費および特定健診の地域差分析

令和7年度 研究奨励交付金データサイエンス研究

福岡県立大学
石崎龍二

2026年3月2日

令和7年度附属研究所研究奨励交付金事業成果報告会

概要

国保データベース（KDB）システムにある医療レセプトをもとに、2016～2024年度の福岡県内での医療費、加えて2018～2024年度の特定健康診査データの地域間での疾病別の比較等を行った。

本研究では、KDBシステムに蓄積された匿名加工医療情報を福岡県国保連から提供を受け、特定の個人を識別できないよう加工された匿名加工情報であることを福岡県国保連に確認のうえ受領し、個人情報保護に十分配慮した上で分析を実施した。

2016年度から2024年度 福岡県の疾病別医療費

※福岡県の国民健康保険保険者(地区)のデータ

福岡県生活習慣病疾患別外来医療費（2016年度から2024年度平均）

男性

生活習慣病疾患	総医療費	
がん	13,978,222,158	14.40%
糖尿病	9,931,078,487	10.23%
高血圧症	6,213,078,868	6.40%
筋・骨格系疾患	5,432,362,274	5.60%
精神疾患	5,266,556,202	5.43%
脂質異常症	3,529,931,338	3.64%
狭心症	1,026,364,776	1.06%
脳梗塞	634,689,419	0.65%
脂肪肝	197,394,034	0.20%
高尿酸血症	155,773,106	0.16%
心筋梗塞	91,429,136	0.09%
動脈硬化症	87,801,643	0.09%
脳出血	42,216,032	0.04%
その他（上記以外のもの）	50,460,842,534	52.00%
合計	97,047,740,007	

女性

生活習慣病疾患	総医療費	
筋・骨格系疾患	13,874,404,666	13.40%
がん	13,084,133,588	12.63%
糖尿病	6,904,409,226	6.67%
高血圧症	6,319,389,717	6.10%
脂質異常症	6,042,421,987	5.83%
精神疾患	5,716,645,537	5.52%
狭心症	585,156,510	0.56%
脳梗塞	475,182,848	0.46%
脂肪肝	222,787,501	0.22%
動脈硬化症	82,874,727	0.08%
脳出血	25,780,904	0.02%
心筋梗塞	23,144,754	0.02%
高尿酸血症	12,465,047	0.01%
その他（上記以外のもの）	50,203,429,130	48.47%
合計	103,572,226,140	

福岡県生活習慣病疾患別入院医療費（2016年度から2024年度平均）

男性

生活習慣病疾患	総医療費	
がん	17,253,281,691	18.67%
精神疾患	14,181,971,873	15.35%
筋・骨格系疾患	5,571,229,691	6.03%
脳梗塞	3,174,660,769	3.44%
狭心症	2,272,723,130	2.46%
脳出血	1,581,311,484	1.71%
糖尿病	1,092,515,757	1.18%
心筋梗塞	979,531,003	1.06%
高血圧症	322,135,381	0.35%
動脈硬化症	178,103,119	0.19%
脂質異常症	79,208,110	0.09%
脂肪肝	24,080,919	0.03%
高尿酸血症	12,809,028	0.01%
その他（上記以外のもの）	45,690,254,537	49.44%
合計	92,413,816,492	

女性

生活習慣病疾患	総医療費	
がん	14,212,016,464	19.21%
精神疾患	12,261,649,180	16.58%
筋・骨格系疾患	8,595,715,246	11.62%
脳梗塞	1,434,384,529	1.94%
脳出血	868,115,003	1.17%
狭心症	708,767,901	0.96%
糖尿病	607,789,236	0.82%
心筋梗塞	227,452,083	0.31%
高血圧症	247,471,181	0.33%
脂質異常症	80,557,489	0.11%
動脈硬化症	57,953,360	0.08%
脂肪肝	17,435,851	0.02%
高尿酸血症	4,118,133	0.01%
その他（上記以外のもの）	34,644,727,040	46.84%
合計	73,968,152,697	

福岡県の国民健康保険の医療費（2016～2024年度）

- 福岡県の国民健康保険における2016～2024年度の医療費をみると、外来医療費は全国平均と同程度である一方、入院医療費は全国平均を上回る水準にある。
- 入院医療費では、がん、精神疾患、筋・骨格系疾患、循環器系疾患、糖尿病が大きな割合を占めている。このうち、精神疾患、糖尿病、高血圧症は、男女とも県内全域で一様に高い傾向がある。一方、高尿酸血症、脂肪肝、脂質異常症などの代謝系疾患は、全国平均を上回るとともに地域差が大きい。また、動脈硬化症は男女とも、心筋梗塞は女性において地域差が顕著であった。
- 外来医療費では、がん、筋・骨格系疾患、糖尿病、高血圧症、精神疾患といった主要疾患は全国平均と同程度で、地域差も比較的小さい。一方、脂肪肝は全国平均を上回り、脳血管疾患には大きな地域差がみられた。

KDB システムの 特定健康診査データ を使った分析



2018～2024年度の福岡県市区町村別 特定健康診査データ分析

- 福岡県国保連から提供された2018～2024年度の特定健診データを基に、地域別および検査項目別に分析した。使用したデータは、KDBシステムに蓄積された厚生労働省様式（様式5-2）に基づく「健診有所見者状況（男女別・年代別）」の情報であり、個人を特定できないよう匿名加工された形式で提供された。
- 対象とする検査項目は、BMI、腹囲、血圧（収縮期・拡張期）、中性脂肪、空腹時血糖、HbA1c、LDLコレステロール、クレアチニン、eGFRなど、生活習慣病およびそのリスク要因に関連する指標である。分析対象は福岡県内の40歳以上74歳以下の男女として評価を行った。

福岡県の特定健診各検査項目における基準値超過者の割合（2018～2024年度）

検査項目	男性		女性	
	県	全国	県	全国
BMI 25以上	32.6%	33.5%	20.2%	21.7%
腹囲 85cm以上（男性）、90cm以上（女性）	56.5%	55.2%	20.1%	19.1%
中性脂肪 150 mg/dL以上	27.6%	26.9%	15.0%	15.3%
HDLコレステロール 40mg/dL未満	6.5%	7.5%	1.0%	1.3%
LDLコレステロール 120mg/dL以上	47.6%	46.4%	57.0%	56.0%
空腹時血糖 100 mg/dL以上	34.7%	31.2%	21.5%	19.5%
HbA1c 5.6 %以上	61.1%	59.0%	59.2%	57.8%
ALT(GPT) 31U/L以上	21.4%	21.1%	9.0%	9.2%
血清クレアチニン 1.30mg/dL以上	2.7%	2.6%	0.2%	0.3%
eGFR 60未満	23.5%	22.7%	19.3%	19.3%
尿酸 7.0 mg/dL以上	16.8%	13.2%	2.3%	1.9%
収縮期血圧 130mmHg以上	49.2%	50.4%	43.2%	45.4%
拡張期血圧 85 mmHg以上	23.2%	25.4%	14.6%	16.4%

まとめと今後に向けて

- 2016～2024年度の国民健康保険の医療費を分析した結果、外来医療費に比べ、入院医療費において全国平均を上回る水準や地域差の大きい疾病が多く認められた。
- これらの結果から、入院医療費が高水準にあることは重症化の進行を反映している可能性が高く、特定健診による早期発見と外来医療による継続的管理を通じて重症化を防ぐ取組の重要性が示唆される。
- こうした医療費の地域差が生じる要因については、今後より詳細な検討が必要である。

謝辞

附属研究所度研究奨励交付金データサイエンス研究の助成を受け、福岡県国民健康保険団体連合会から国保データベースのデータ提供を受けたことに感謝します。